

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ウィズ・ユース葛飾区役所前		
○保護者評価実施期間	2025年 7月 1日		2025年 8月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2025年 9月 4日		2024年 9月 12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 9月 30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	スタッフの専門性	療育、教育、福祉分野の有資格者が在籍し、専門的な視点から支援を行っています。	外部研修や事例検討会を通じて、スタッフのスキルアップと支援力の向上を図ります。
2	活動の多様性	創作活動、運動、感覚遊び、社会性をはぐくむグループ活動など、幅広いプログラムを展開しています。	多様な特性を持つ子どもたちが共に過ごし、お互いを尊重し合える環境づくりを目指します。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	記録の統一性	支援記録の表現や視点にばらつきがあり、スタッフ間での共有に課題が残っています。	支援記録の質を高めるために、スタッフ研修を行います。
2	環境整備の遅れ	一部の活動スペースにおいて、音や照明など感覚過敏への配慮が十分でない場面が見られます。	子どもたちの感覚特性に応じた空間づくり(照明、音、導線など)を勧め、安心して過ごせる環境を整備します。
3	地域とのつながり	地域資源との連携や外部交流の機会が限られており、社会参加の幅が狭くなりがちです。	地域の学校、福祉施設、ボランティア団体との連携を強化し外部との交流機会を増やします。